

会 報

“ヴァリエティー”

VARIETY

第 41 号

日本近代史読書会

The Reading Circle of Japanese Modern History

会報『ヴァリエティー』第41号 目次

ダ・ヴィンチの受胎告知	1 頁
日近研 秋の文化祭 第 10 回時事問題意見交換大会 (2023.11.11)	
大会概要 ～ 4 回目の Skype オンライン大会 ～	2 頁～5 頁
白石と荻原重秀の経済政策の差異	6 頁～7 頁
神仏習合と廃仏毀釈について	8 頁～13 頁
歴史の繁栄と衰退はなぜ起きるのか	14 頁
中国西安での日本語講師の体験談	15 頁～23 頁
クラシック音楽との出会い	24 頁～25 頁
泰緬鉄道と C56 型蒸気機関車	26 頁～30 頁
プーチンの侵略戦争—ロシア人と日本人の歴史的転換点	31 頁～35 頁
石油のあれこれ	36 頁～48 頁
生成 AI の得意なことは何か	49 頁～55 頁
Maxwell の電磁方程式と特殊相対性理論	56 頁～65 頁
屋嶋城見学ハイキング 2023.11.20	66 頁
発句一題 編集後記	

発刊の辞

E. H. カーは、「歴史とは過去との対話である」と述べています。私たちは、この言葉の意味を深く認識し、激変する世界の中で、歴史的転換期にある日本と日本人にとって最も適切な判断と行動を見出すために、幕末から現在に至る日本近代化の過程について、先人が築き上げてきた努力と業績を踏まえながら、様々な事柄を俎上に載せて考察していきたいと思います。

そして、歴史作家である司馬遼太郎氏が語った次の言葉を掲げて、私たちの道程の励みにしたいと思います。

「われわれは今後きつといい方向に行くと思うのですが、この昭和を忘れてはいけません。もっと研究しなければいけない。もっと考え込まなければいけないと思っています。」(『昭和という国家』)

2013 年 12 月 18 日
日本近代史読書会